



七夕祭りの開催～短冊に願いを込めて

7月7日(水)、七夕の日。「ささの葉さらさら～♪」と子どもたちが口ずさみながら、保育参観の時に製作した七夕飾りを、みんなで飾りました。当日は、梅雨の中休みという感じで、雨がやみ少し晴れ間も見られる天気の中で、七夕祭りを行うことができました。

七夕祭りの中では、紙芝居「天の川にかかる橋」を観たり、みんなで七夕の歌を歌ったりして、楽しみました。園長からは、「ずーと昔、千年ぐらい前では、笹の葉にお供えを乗せて、お願い事を書いた紙を川に流したのですよ」「七夕の日の7月7日は、日本では梅雨の時期で天の川をなかなか見られませんが、ずーと昔のカレンダーでは、七夕は8月15日お盆の頃だったので、天の川がよく見えてかもしれませんね」というお話をすると、子どもたちは真剣に聴いていました。

子どもたちの短冊には、「自転車をじょうずに乗れますように」「うんていが上手にできますように」「お医者さんになれますように」など、いろいろな願い事が書かれていました。



お誕生日おめでとう～第2回「お誕生会」を開く 7/9(金)

この度、6月と7月生まれの園児を対象にお誕生会を開催しました。今回のお誕生会も、コロナ感染予防ということで、参観する保護者の方を家族1名に制限し、玄関での健康状態申告書の提出を事前にお願ひし、ご協力をいただきました。

お誕生日が来て、歳が一つ増えるというのは、子どもにとってはとてもうれしいことであり、子どもたちは誕生日が近づくと、「園長先生、私、もうすぐ誕生日なんだ」とみんなが告げてきます。家族にとっても、お子さんの誕生日というのは、特別の日ですね。一年一年子どもの成長を感じ、これからも元気に過ごしてほしいと願う、そんな思いを強くするのがお子さんの誕生日ではないでしょうか。

今回のお誕生会の主役は、14名でした。みんなで歌を歌ったり、主役の子どもたちにインタビューをしたりして、14名の子どもたちを全員でお祝いしました。

14名の子どもたちは、保護者会からいただいたお誕生日プレゼントとクッキーを、帰るときにお迎えに来たお母さんには持たせずに、自分で大事にしながら持って帰ったのが印象的でした。



<プレゼント贈呈>



<主役へインタビュー>



<お誕生日の歌>

行事

今年の年長組対象のお泊まり保育は、感染予防を踏まえ、「お楽しみ保育」に名前を変更して日帰りを実施します。日帰りといっても、茶臼山登山や園内での宝探し、プール活動、大善寺でのお勤め、スイカ割り、花火と内容は充実しています。